

教師力アップセミナー アンケート集計 【曾山和彦先生】平成26年6月15日

1 本日のセミナーはどうでしたか。

- | | |
|------------|----|
| ・よかった | 85 |
| ・まあまあよかった | 2 |
| ・あまり良くなかった | 0 |
| ・よくなかった | 0 |

2 本日のセミナーの感想をお書きください。

- ・2時間があったという間だった。「行動が感情をつくる」ととても納得。
- ・SSTとSGEの違いがよく分かった。
- ・明日から使えることばかりでよかった。
- ・アドジャン、2者択一をぜひやってみた。
- ・アドラーのことを勉強したいと思った。
- ・笑顔で「おはよう」「やれ」「やれ」とは言うてはいても、自分はどうかろう。まずは、教師がスキルを学び「縦」と「横」の糸をしっかり紡いでいけるようになりたい。
- ・エンカウンターなどを取り入れ、まずは自尊感情をあげたい。
- ・大人として接している自分が教材であるという自覚を大切にしたい。
- ・クラスで困っていることがあり、とても参考になる内容だった。
- ・クラスの実態を思い浮かべながら聞くことができた。
- ・子どもたちに接する際の大きな指針になることが得られ、元気とやる気をいただけた。
- ・子どもの自尊感情を育むことが一番大切だと思った。1年生の子ですら、「自分のことが好きでない」と答える子が多くいる。
- ・子どもを叱ったりすることが多い自分を反省した。自分の怒りの感情を抑えられるようになりたい。
- ・この技法が全てではないということを念頭に置きつつ、いろいろと試してみたい。
- ・困っている生徒を見つけるだけでなく、大部分の守れている生徒に対してアンテナを高くし、褒めていくことの大切さについて再確認した。
- ・指示のユニバーサルデザインが興味深かった。
- ・時短なSSTを活用してみたい。
- ・実技もあり、具体的なアプローチの仕方を学ぶことができてよかった。
- ・職員がチームとして全員が意識すれば、学校も子どもも大きく変われると確信した。
- ・先生がうなづくことが子どもの安心感を引き出すことがよくわかった。
- ・先生の話し方そのものが勉強になった。
- ・先生の話し方で、穏やかな気持ちになった。
- ・曾山先生のお話を聞くのは3回目でしたが、聞くたびに笑顔が増え、子どもが好きにな

っていきました。

- ・大変な子がいるが、あきらめずにやっ払いこうと思えた。
 - ・丁寧に SST について教えていただき、大変わかりやすかった。
 - ・なるほどとうなずきがあることがたくさんあった。
 - ・なんとなく行っていたことの裏付けができてよかった。
 - ・西の横綱、東の横綱というように最後に整理していただいたことで、2 時間の話がすっきりと整理できた。
 - ・万能なものはない。繰り返し行うこと、試し使ってみて、様子を見ることでよい方法が・見つかるということもその通りだと思った。
 - ・人との関係づくりの難しさを日々感じながら指導をしている。親も絡んでくるので言葉づかいも慎重になる。
 - ・普段の子どもの様子を振り返ると納得できることが多く、とても参考になった。
 - ・誉め方の言葉がけをより豊富にしなくてはと思った
 - ・褒めることが逆効果になるという話には驚いた。
 - ・褒めることばかりでなく、勇気づける言葉が大切だということがよく分かった。
 - ・毎日の小さなアプローチの積み重ねが、大きな実を結ぶことがよくわかった。
 - ・身近な人と人との関わりの大切さ、どの学校でも取り入れたいものだった。
 - ・ゆったりと柔らかく、思考も内容も柔軟性がある。それでいて、骨がすっとしていた。W 杯よりも優先してよかった。
 - ・リレーションとレポートの違いがよく分かった。
 - ・「軌跡は奇跡」実感しています。
 - ・「機を織る」というお話を聞いて、今のクラスは縦糸はできてきたが、横糸があまりなく寂しい感じがして悩んでいたが、そのヒントになった。
 - ・「資料変わりますよ」がよかった。
 - ・「ほめる」が万能でないこと、思春期を境に子どもの捉え方が違うことがよくわかった。
 - ・「私たちはプロですからこうしたいですよね」というお話、自分が見逃したり、あきらめたりしていたことを頑張らなくてはおもった。
- ▲最後のほうをもう少し詳しく聞きたかった。
- ▲本が買えるとよい。